

※利用者様は補修を行わず、補修については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

AT-E-360/360F

メンテナンスガイド



このメンテナンスガイドは必ずお読みいただき、大切に保管してください

このメンテナンスガイドを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、ガイドに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

もくじ

はじめに	1
1. 付属品の点検	1～2
1) 取扱説明書の点検	1
2) 支柱固定ボタンボルトの点検	1
3) 六角レンチの点検	1
4) 各種シールの点検	2
2. 外観の点検	3～9
1) 手すりの点検	3
2) 支柱の点検	4
3) 支柱プレートカバーの点検	4
4) 支柱キャップの点検	4
5) ベースプレートの点検	5～7
6) 踏み台の点検	8～9
3. 性能の点検	10～11
1) 手すりガタつきの点検	10
2) 支柱ガタつきの点検	10
3) 踏み台ガタつきの点検	10
4) 手すり角度変更の点検	10
5) 高さ調節の点検	11
注意事項	12
1) 保管について	12
2) お手入れについて	12
3) 廃棄について	12

必要工具

六角レンチ：4mm、5mm
 プラス/マイナスドライバー
 電動ドリルドライバー



はじめに

メンテナンスを始める前にメンテナンスチェックリストを入手してください。
(メンテナンスチェックリストは弊社ホームページからダウンロードできます。)
作業はメンテナンスチェックリストの順に従ってお進めください。

メンテナンスチェックリストの付属品の点検、外観の点検、性能の点検の各項目について、確認を行い、異常のない場合はチェック欄にチェックマーク(✓)をご記入ください。
異常が見つかった場合は、交換部品を取り寄せて補修いただいた上で、チェック欄に記入してください。

※ 補修ができない場合は製品の使用を中止してください。

※ 廃棄するときは、各自治体のルールに従って廃棄してください。

弊社ホームページからダウンロードできるもの

- ・取扱説明書
- ・メンテナンスチェックリスト
- ・メンテナンスガイド
- ・部品交換マニュアル

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

1. 付属品の点検

1) 取扱説明書の点検

取扱説明書の有無を確認してください。

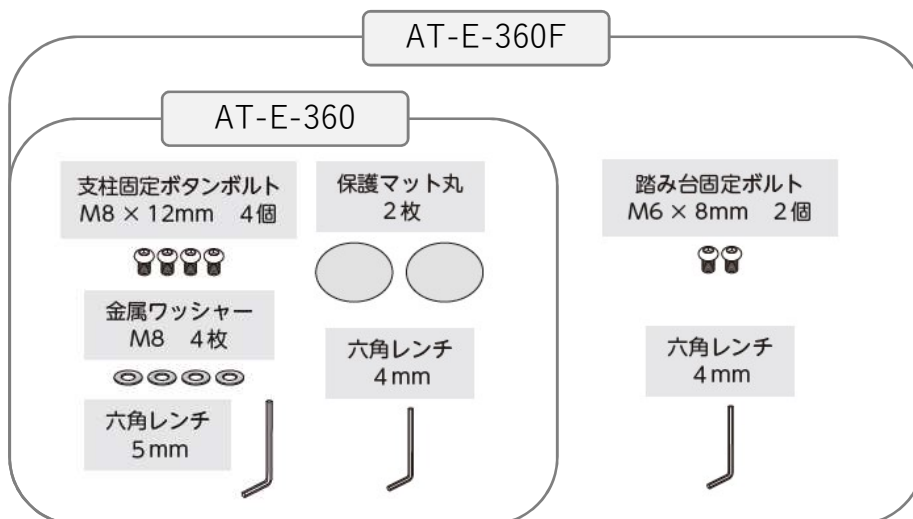
取扱説明書がない場合は、弊社ホームページからのダウンロードが可能です。



取扱説明書

2) 支柱固定ボタンの点検 3) 六角レンチの点検

各部品に過不足がないかを確認してください。



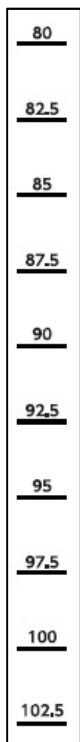
※未開封品の開梱時に付属されているものです

1. 付属品の点検

4) 各種シールの点検

- ①. 高さ目盛りシールがスライド支柱の正面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。
- ②. 警告シールが外支柱の上部正面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。
- ③. 品質表示シールが外支柱の下部背面に1ヶ所貼ってあることを確認してください。

①. 高さ目盛りシール



③. 品質表示シール



870135:AT-E-360/870136:AT-E-360F
 各手すり：半導電性化ビニル樹脂
 アルミニウム
 支柱・手すり受け金具・手すり受け軸
 ：アルミニウム
 ベースプレート・踏み台：スチール
 端面保護カバー・保護マット
 ：塩化ビニル樹脂

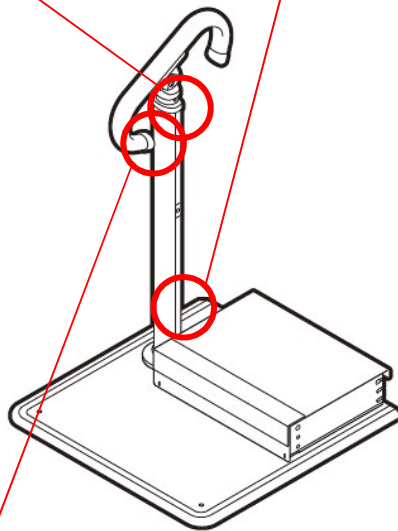
取扱上の注意
 ・火のそばに置かないこと。
 ・キズがつくのでたわしやみがき粉で
 みがかないこと。

最大使用者体重:100kg

アロン化成株式会社
 〒100-8180 東京都千代田区千代田1-10-1
 TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

日本製

②. 警告シール



各種シールにはがれや劣化がある場合は、交換部品の各種シールを貼付してください。

②①高さ目盛りシール (5枚)

②⑤警告シール (5枚)

※品質表示シールの単品がありませんので、

②④外支柱(警告、品質表示シール付き)含めた交換になります。

2. 外観の点検

1) 手すりの点検

①手すりに変形・傷・汚れ・割れがないことを確認してください。



手すりの材料は、半硬質塩化ビニル樹脂です。
中性洗剤等の清拭作業をお願いします。
もし、傷や色あせがあっても補修することが出来ないため、異常があった場合は廃棄となります。
廃棄する場合、被覆された樹脂のみカッターで切れますので、分解して廃棄することをお勧めいたします。

異常がある場合は、『C型手すり』を交換してください。

六角レンチ：5mm



※左図の赤丸4ヶ所のねじは外さないでください。
タッピンねじであるため、同じ穴に再締結することができず、ガタつきの原因になります。
外してしまった場合、『C型手すり』と交換してください。

②手すり角度固定キャップボルトが緩みなく固定できることを確認してください。

六角レンチ5mmで緩める

六角レンチ5mmで固定する



交換作業以外で、ブラケット固定ボルトM4を外さないでください。

新品のブラケット固定ボルトM4



ブラケット
固定ボルトM4



ブラケット固定ボルトM4は、根元まで全周に緩み止め剤(緑色)が付着していますので、再利用すると緩み止め効果が著しく低下します。
増し締めは良いですが、緩めて外した場合、新しい『ブラケット固定ボルトM4』と交換してください

2. 外観の点検

2) 支柱の点検

変形・ひび割れ・ゆがみなど異常がないことを確認してください。



支柱の材料は、アルミニウムでアルマイト処理をしています。
中性洗剤等で清拭作業をお願いします。
補修することが出来ないため、異常があった場合は廃棄となります。

異常がある場合は、『**スライド支柱**』『**外支柱**』を交換してください。

3) 支柱プレートカバーの点検

傷・汚れ・割れがないことを確認してください。



支柱プレートカバーの材料は、ASA樹脂です。
屋外用途でも使用される樹脂ですが、傷や汚れは付きます。中性洗剤等の清拭作業をお願いいたします。

異常がある場合は、『**支柱プレートカバー**』を交換してください。

4) 支柱キャップの点検

傷・汚れ・割れがないことを確認してください。



支柱キャップの材料は、ASA樹脂です。
屋外用途でも使用される樹脂ですが、傷や汚れは付きます。中性洗剤等の清拭作業をお願いいたします。

異常がある場合は、『**支柱キャップ**』を交換してください。

2. 外観の点検

5) ベースプレートの点検

①塗装剥がれや傷がないことを確認してください。



ベースプレートの材料は、スチールでカチオン電着塗装をしています。(保護マット下側の黒色の金属)表面は保護マットがありますので影響が少ないですが、裏面等にスチールの下地が見えていると、腐食する原因になります。下地が見える傷がある場合、市販の「つや消し黒色」で塗装することをお勧めします。

②保護マットに傷・汚れ・剥がれがないことを確認してください。

保護マットの材料は、塩化ビニル樹脂になります。

(マンション等の廊下に施工されているものと同じです)

表面には凹凸模様があるため、傷もつきにくく、汚れても中性洗剤等で清拭作業が可能です。

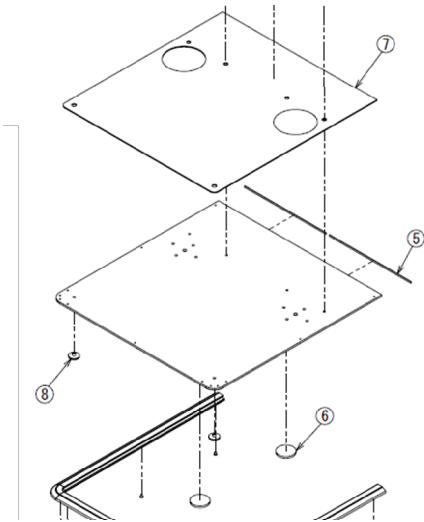
もし、剥がれていた場合、両面テープ(アクリル系強力接着タイプ)で固定してください。

異常がある場合は、『**ベースプレート保護マット**』を交換してください。

2. 外観の点検

5) ベースプレートの点検

- ③ベース後方緩衝材とベース底部スペーサーに傷・汚れ・剥がれがないことを確認してください。



ベース後方緩衝材は、ベースプレート後方の金属部分に貼り付けている合成ゴム(黒色)になります。

(図中の⑤番)

また、ベース底部スペーサーは、ベースプレート裏面に貼り付けている丸い合成ゴム(黒色)になります。

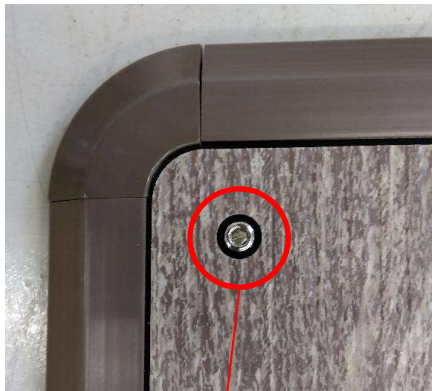
(図中の⑥番)

両方とも、設置時や使用時に財産にぶつけて傷がつくことを緩和させる目的で貼り付けています。

両面テープで貼り付けていますので、異常があった場合は、速やかに貼り替えることをお勧めします。

異常がある場合は、『ベース後方緩衝材』『ベース底部スペーサー』を交換してください。

- ④座付きアジャスターの底部にゴムがあり、傷・汚れ・剥がれがないことを確認してください。



ベースプレート前方角部分にある座付きアジャスターは、底部に合成ゴム(黒色)を両面テープで貼っています。

もし、剥がれていると地面を傷つけてしまいます。

異常がある場合は、『座付きアジャスター』を交換してください。



座付きアジャスター



(裏面)

2. 外観の点検

5) ベースプレートの点検

- ⑤端面保護カバーに変形・ひび割れ・ゆがみなど異常がないことを確認してください。



(裏面)

ベースプレートの前方、側方の3辺と前方角2ヶ所に取り付けています。材料は塩化ビニル樹脂になり、誤ってベースプレートを落下させたりすると、破損することがあります。異常があった場合、AT-CやAT-CRシリーズ同様の裏面からねじ固定していますので、速やかに交換してください。

※AT-CやAT-CRシリーズとは、端面保護カバーとそれを固定する固定ボルトが違います。部品販売リストを確認の上、ご準備ください。

異常がある場合は、『端面保護カバー-L510』『端面保護カバー-L556』『端面保護カバーコーナー』を交換してください。

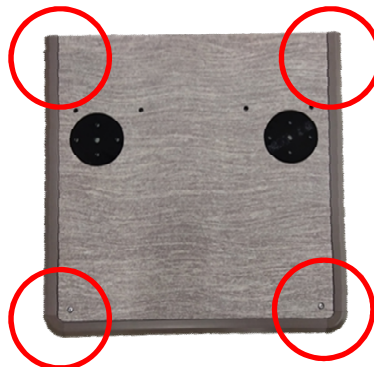
電動ドリルドライバー

ベースプレートの初期性能として、生産加工上で、左右にスキマがあります。よって、中央部分に載ると、若干沈みこみを感じる方がいますが、問題ありません。



平らな面に置くと、左右中心にスキマあり。

もし、ベースプレートを平らな面に置き、四隅を上から押したときにガタついた場合は、ベースプレートがゆがんでいますので、異常になります。



真上から両手で四隅を交互に押して、ベースプレートがガタつくか確認

2. 外観の点検

6) 踏み台の点検

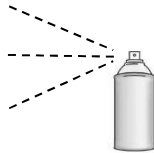
①塗装剥がれや傷がないことを確認してください。



踏み台本体(黒色)はスチール+粉体塗装になります。特に高さ調節する側面のボルト部分が本体と擦れて、傷がつきやすいです。下地が見えるような傷がある場合は、補修スプレーで塗装してください。

踏み台本体(黒色)の塗装に傷やはがれが見られる場合には、補修部品『**踏み台本体補修スプレー**』で補修してください。

- A. 塗装面のゴミ、汚れ、油分、サビなどをよく落とします。
- B. 塗料が傷部分以外につかないように、マスキングを施します。
- C. 『**踏み台本体補修スプレー**』で塗装します。



一か所にスポット的にスプレーするのではなく、薄く全体的にすること

- ※スプレーを使用するときは、よく振ってから使用してください。
- ※深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。
- ※火気には十分に注意してください。
- ※有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくしてください。
- ※スプレー缶に記載されている 使用上の注意をよく読んでからご使用ください。

2. 外観の点検

6) 踏み台の点検

②保護マットに傷・汚れ・剥がれがないことを確認してください。



保護マットの材料は、塩化ビニル樹脂になります。
(マンション等の廊下に施工されているものと同じです)
表面には凹凸模様があるため、傷もつきにくく、汚れても中性洗剤等で清拭作業が可能です。
もし、剥がれていた場合、両面テープ(アクリル系強力接着タイプ)で固定してください。

異常がある場合は、『踏み台保護マット天面板用』『踏み台保護マット段鼻用』を交換してください。

③踏み台緩衝材に傷・汚れ・剥がれがないことを確認してください。



踏み台後方に2ヶ所ついています。材料は、エチレンプロピレングムになります。
凸形状したゴムが本体の穴にはめてあり、設置時や使用時に財産にぶつけて傷がつくことを緩和させる目的で貼り付けています。

異常がある場合は、『踏み台緩衝材』を交換してください。

④踏み台調節ボルトと固定ボルトが緩みなく締め付けできることを確認してください。



固定ボルト

調節ボルト

調節ボルトと固定ボルトは同じサイズ、長さです。互い違いにしても問題ありません。材料はステンレスになります。
もし、硬い場合は相手側に錆などの可能性もありますので、確認してください。

3. 性能の点検

1) 手すりガタつきの点検 2) 支柱ガタつきの点検 3) 踏み台ガタつきの点検

前後・左右に軽くゆらしてガタつきやズレがないことを確認してください。

取扱説明書15ページより

ご利用の前に手すりや踏み台を軽くゆすり、各部にガタつきがないか確認してから使用してください。

- ①手すりがガタつく場合、
P.13「手すりの高さ調節のしかた」およびP.14「手すりの角度調節のしかた」を確認し、各ボルトを再度締め付けてください。
- ②踏み台がガタつく場合、
P.11「3. 踏み台を取り付けます」を確認し、各ボルトを再度締め付けてください。



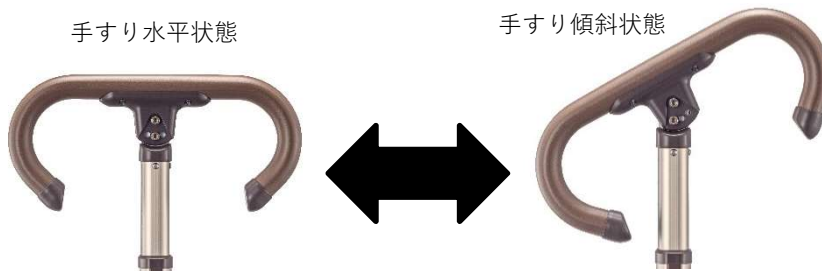
それでも改善しない場合は使用を中止して廃棄してください。

4) 手すり角度変更の点検

手すりの角度が正常に行えることを確認してください。
取扱説明書14ページに記載している手順を元に、確認してください。

手すり水平状態

手すり傾斜状態

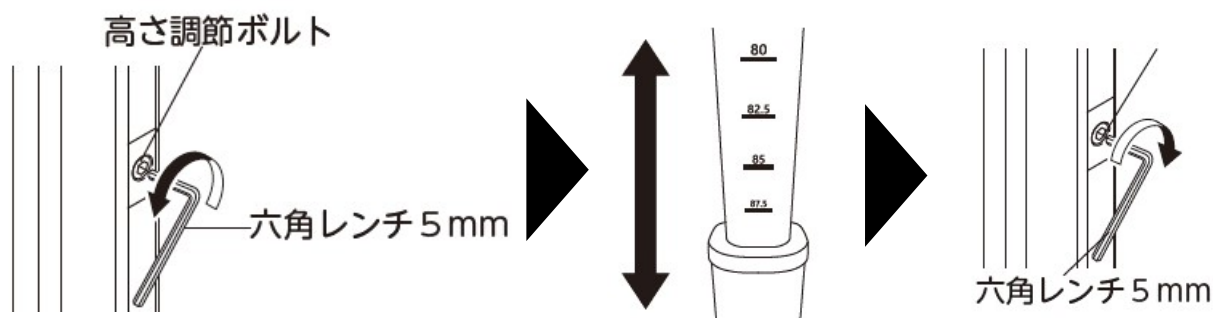


ガタつきやズレがある場合には、再度、角度固定ボルトを締めなおしてください。
それでも改善しない場合は、原因と想定される部品を交換してください。
対象交換品：「C型手すり」「角度固定キャップボルト」「手すり受け軸」

3. 性能の点検

5) 高さ調節の点検

高さ調節が正常に行えることを確認してください。
取扱説明書13ページに記載している手順を元に、確認してください。



ガタつきやズレがある場合には、再度、高さ調節ボルトを締めなおしてください。
それでも改善しない場合は、原因と想定される部品を交換してください。

対象交換品：

「スライド支柱」 「外支柱」 「高さ調節ボルト」 「位置決め金具」
「支柱キャップ」



注意事項

1) 保管について

1. 屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと。
2. 湿気の多い場所で保管しないこと。
3. 火気に近づけないこと、また60度を超えるような高温環境下に保管しないこと。
4. 製品に重量物を載せたり、手すりに物をかぶせたりしないこと。
5. 取扱説明書は本体と一緒に保管すること。

2) お手入れについて

1. 次にあげるものではお手入れしないこと。
 - ・シンナー ・クレゾール ・磨き粉 ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・酸、アルカリ性洗剤 ・その他製品を傷つけるもの
2. オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。

3) 廃棄について

廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

 TOAGOSEI グループ

 アロン化成

アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

ライフサポート事業部

23.12 919290

ARONKASEI CO.,LTD.

12